

業績説明会資料

経営の現況について

2019年5月28日

 **日油** 株式会社

本日の報告内容

 2019中期経営計画

 2019中期経営計画の進捗状況



2019中期経営計画 (2017年度～2019年度)

日油グループの目指す分野

ライフサイエンス分野

- ワクチン用材料
- ペプチド医薬用修飾剤
- タンパク質医薬用修飾剤
- 医療用ハイドロゲル材料
- アンチエイジング材料
- アミノ酸活性化剤
- 化粧品原料
- 医療用栄養食
- 健康食品
- 食用油脂
- 脂肪酸誘導体
- (メタ)アクリル酸誘導体
- 有機過酸化物
- EO・PO誘導体
- 推進薬・発射薬
- 産業用爆薬
- 遺伝子治療用材料
- 核酸医薬用脂質
- 抗体医薬用修飾剤
- オーラルケア用材料
- 点眼薬用材料
- コンタクトレンズ材料
- 再生医療用材料
- 診断薬用添加剤
- アイケア製品

電子・情報分野

- プリントドエレクトロニクス材料
- 導電性インク
- レジスト材料
- 導電ペースト用添加剤
- 機能フィルム
- CF用コート剤
- トナー用添加剤
- 機能性添加剤
- 環境対応型凍結防止剤
- 高機能粘着剤
- 金属微粒子用バインダー
- コンデンサ用材料
- 光重合開始剤

環境・

エネルギー分野

- 生分解性潤滑油
- 高機能防錆剤
- 機能性ハードコート剤
- 花粉抑止剤
- 機能性エラストマー
- 高機能防曇剤
- 海洋開発機器
- 水系防錆剤
- 蒸気圧破砕剤
- 水処理膜用薬剤
- 冷凍機用潤滑基材

コア技術

既存製品

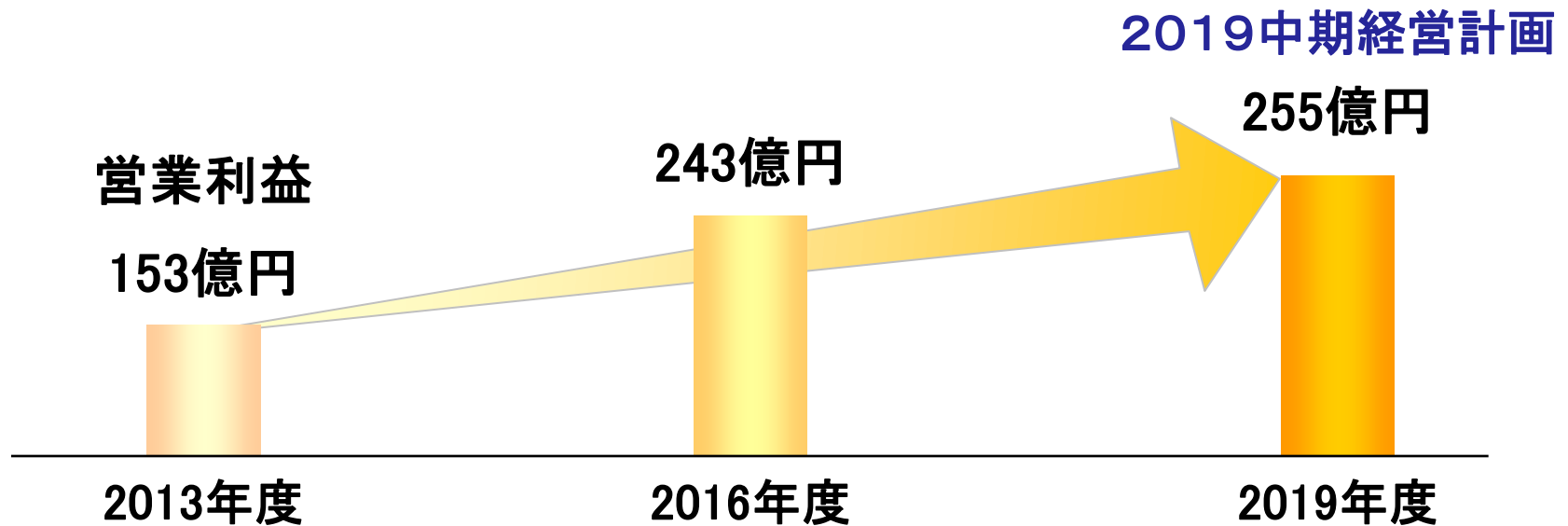
新規開発品

新技術の開発
次世代新製品

日油グループの目指す姿

ビジョン(ありたい姿)

人々の豊かな暮らしを育むため、ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギーの3分野において、多彩な製品をグローバルに提供し続ける企業グループ



2019中計の基本方針

革新的価値の創造と拡大

重点課題

1 新製品・新市場の創出

2 生産性の向上

3 グループ経営の強化

4 CSR活動の推進



2019中期経営計画の進捗状況

2019年度 日油グループを取り巻く 想定事業環境

【経済見通し】

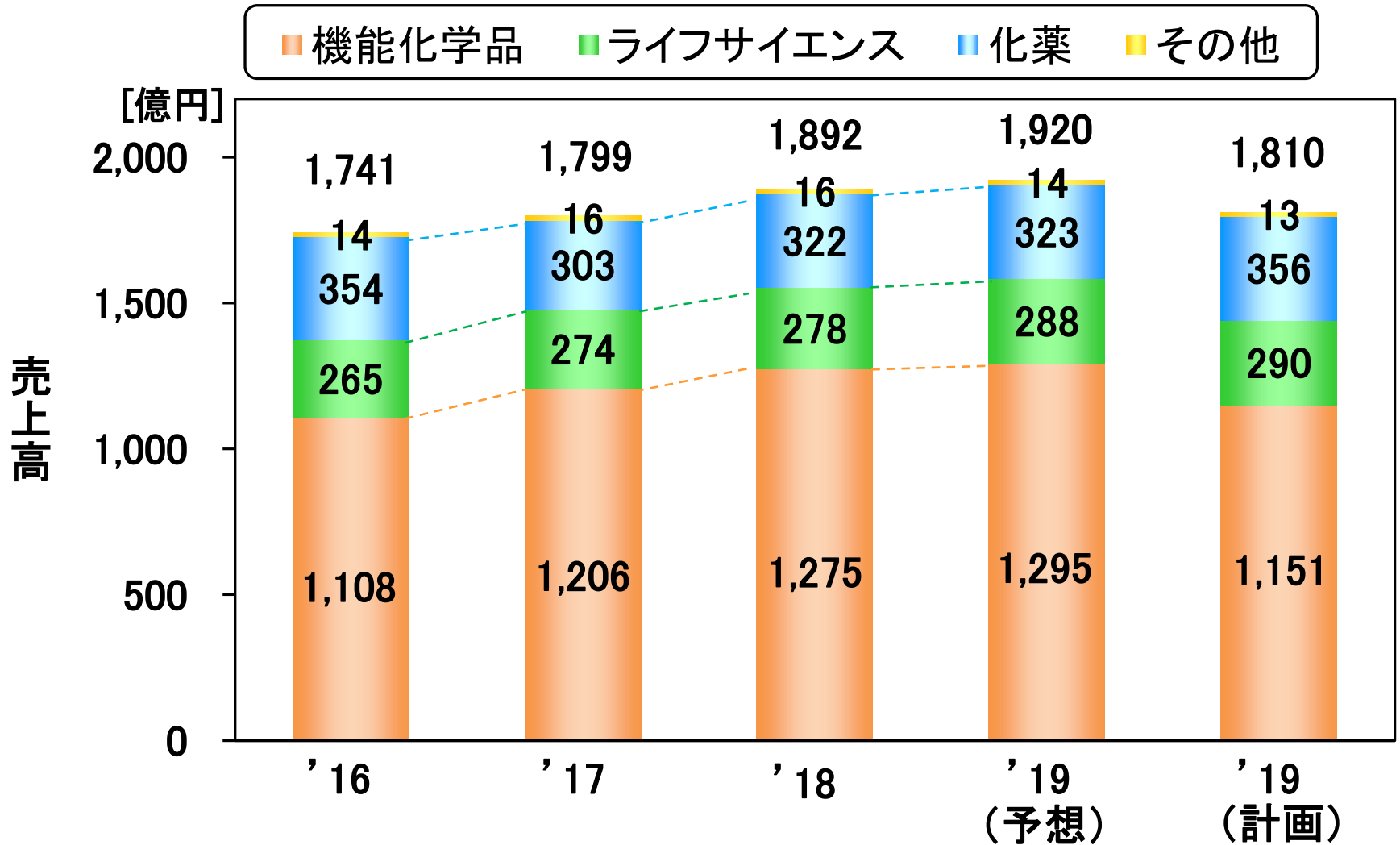
- 国内経済は緩やかな回復が継続
- 海外経済は欧米を中心に緩やかな減速基調

【リスク要因】

- 通商問題の動向
- 国際的な政治情勢の動向
- 中国経済の減速

		2019中計 (想定)	2018年度 (実績)	2019年度 (想定)
パーム油 (FOBマレーシア)	US\$/MT	700	580	575
国産ナフサ	円/KL	37,500	49,400	45,000
為替レート	円/US\$	110	111	110
	円/EUR	120	129	125

セグメント売上高の推移



目指す3分野別の売上高推移

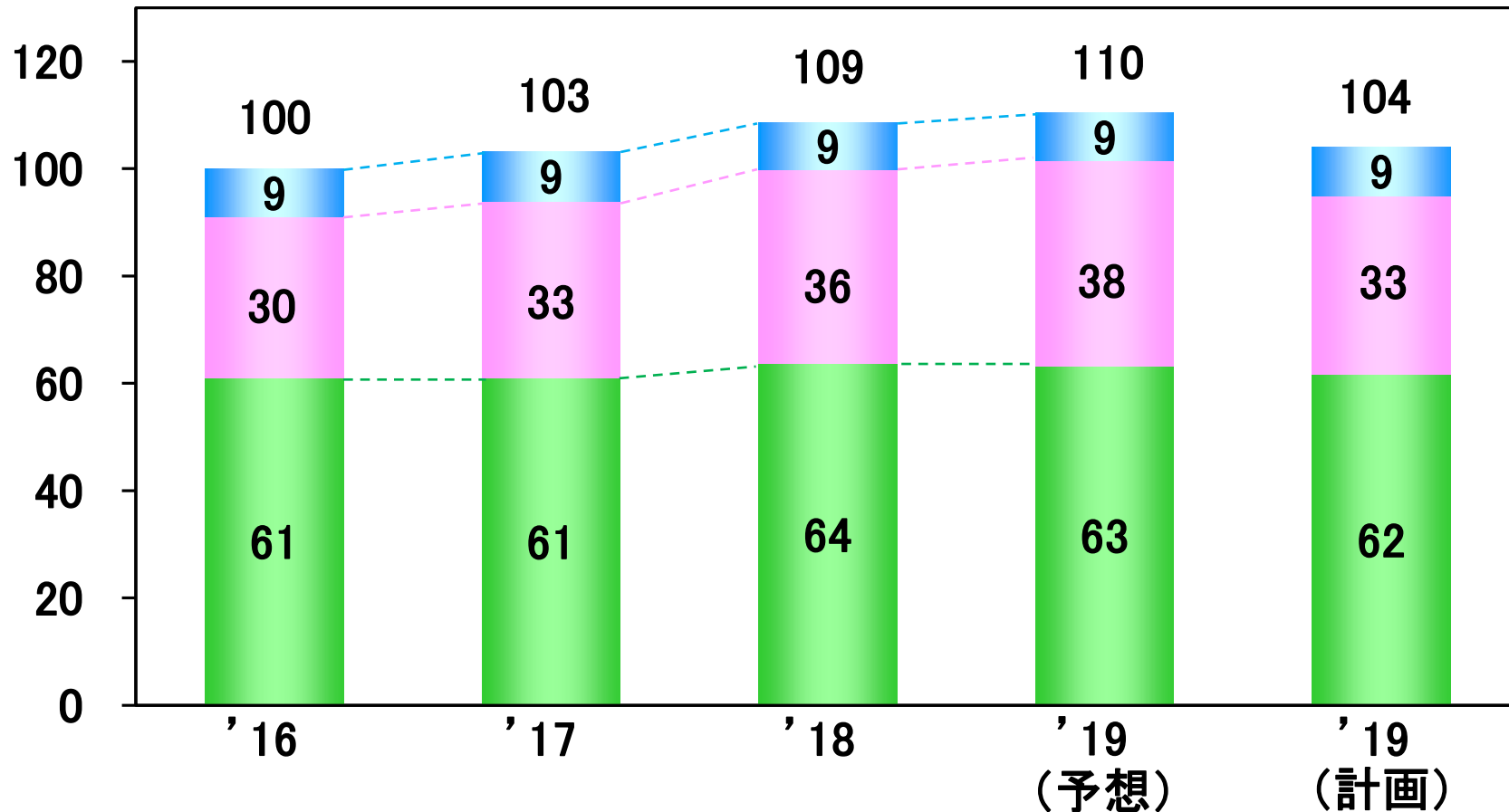
[2016年度売上高を100とする]

■ 環境・エネルギー

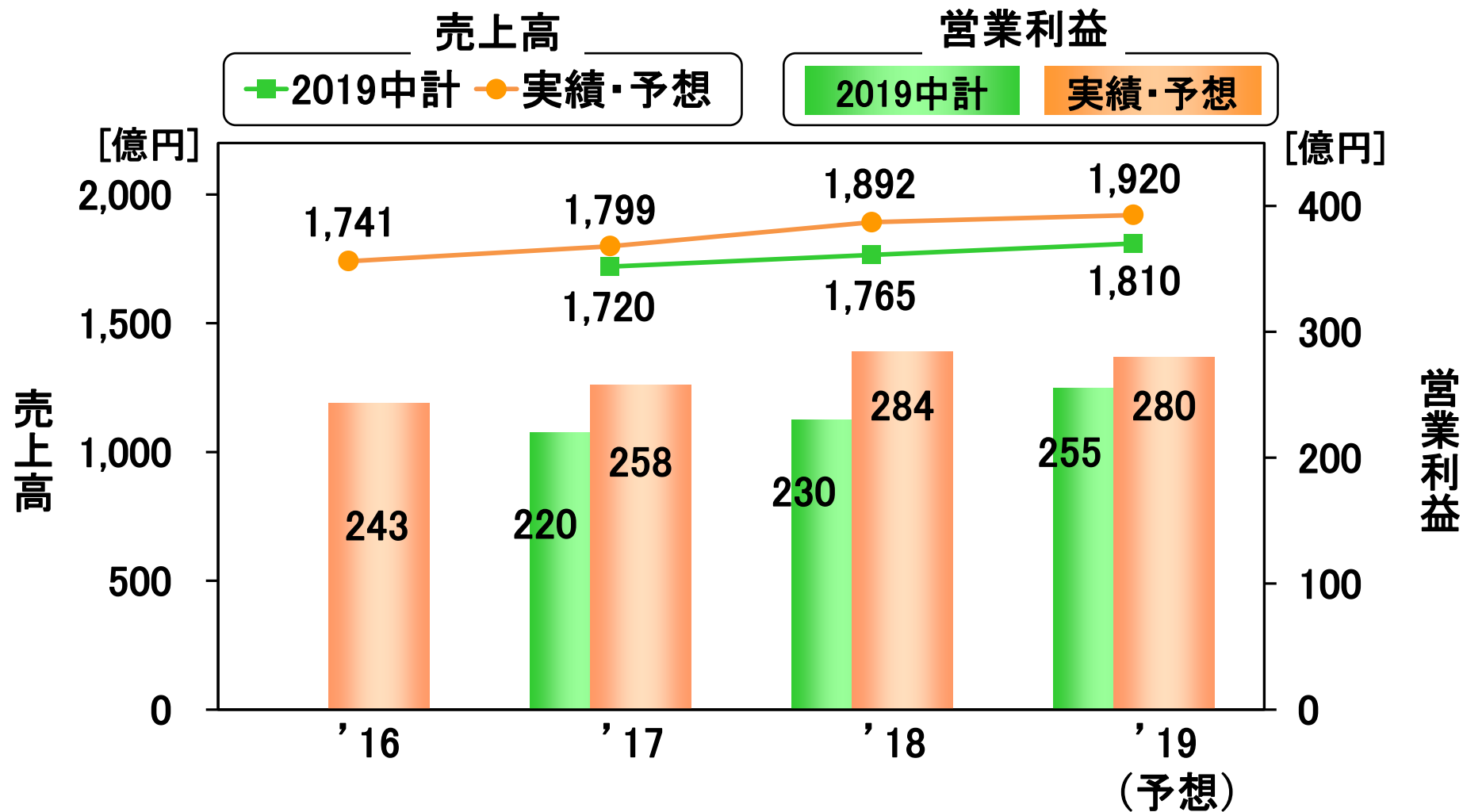
■ ライフサイエンス

■ 電子・情報

売上高指数



売上高・営業利益の推移



2019中計の重点課題

重点課題

1

新製品・新市場の創出

2

生産性の向上

3

グループ経営の強化

4

CSR活動の推進

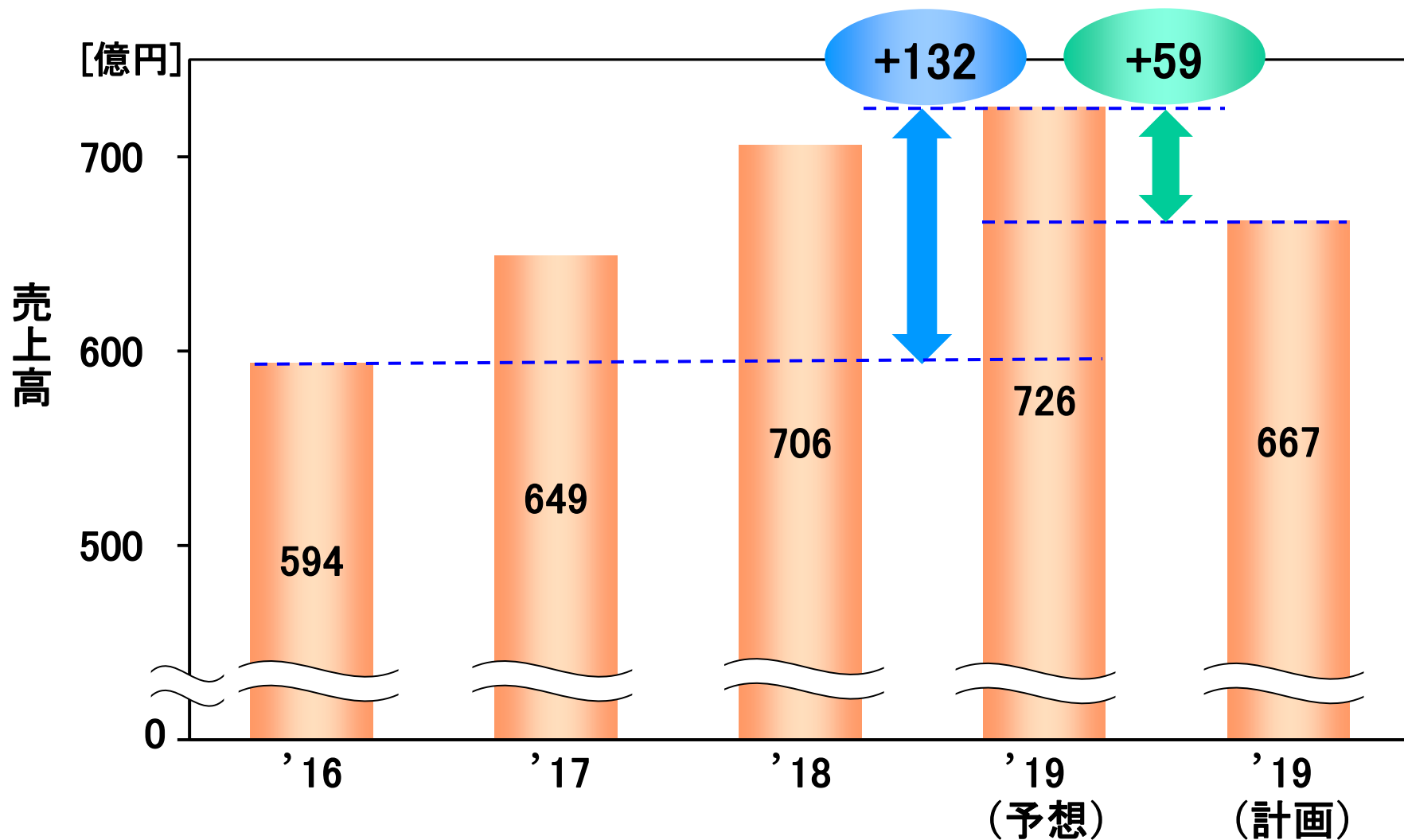
1-1. 新製品開発

重点施策	2019中計	2018年度 (実績)	2019年度 (予定)
研究テーマの拡大と新製品上市の加速	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外での産官学連携による研究テーマ拡大 ・研究開発要員の増強による製品開発のスピードアップ <p>研究開発要員 対2016年度 +10%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究での新技術導入(共同研究 39件) ・研究開発者のローテーション実施 ・産官学連携や事業グループ間連携の推進 ・研究開発職採用を拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ件数の拡大 ・ローテーションによるシナジーの発揮 ・産官学連携や事業グループ間連携の継続・強化 ・研究開発職採用を拡充
研究開発費	累計225億円	64億円	67億円

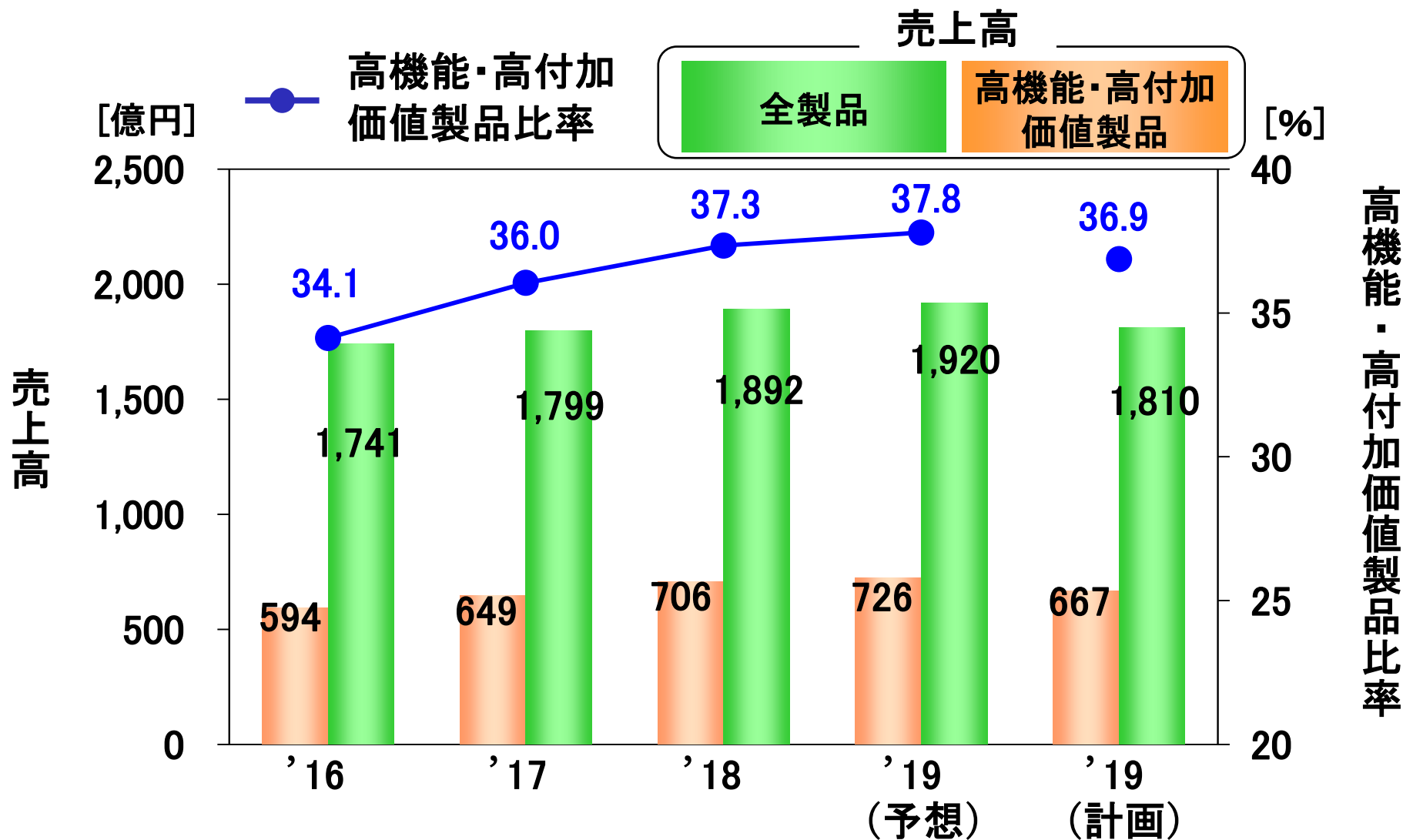
1-2. 産官学連携から生まれた製品例

連携先	製品	特徴
<ul style="list-style-type: none">・クラシエホームプロダクツ(株)・奈良女子大学・茨城大学	アミノ酸系界面活性剤 (シャンプー洗浄基剤)	泡立ち、泡量、泡持ちが向上
<ul style="list-style-type: none">・北海道大学・千葉大学	核酸医薬品および 遺伝子治療用脂質	細胞内での分解性を高め、 患部に薬剤を効率的に送達可能
宇宙航空研究 開発機構 (JAXA)	小惑星探査機 「はやぶさ2」衝突装置	爆薬で金属成形体を飛翔させ、 小惑星に人工クレーターを形成

1-3. 高機能・高付加価値製品の売上高



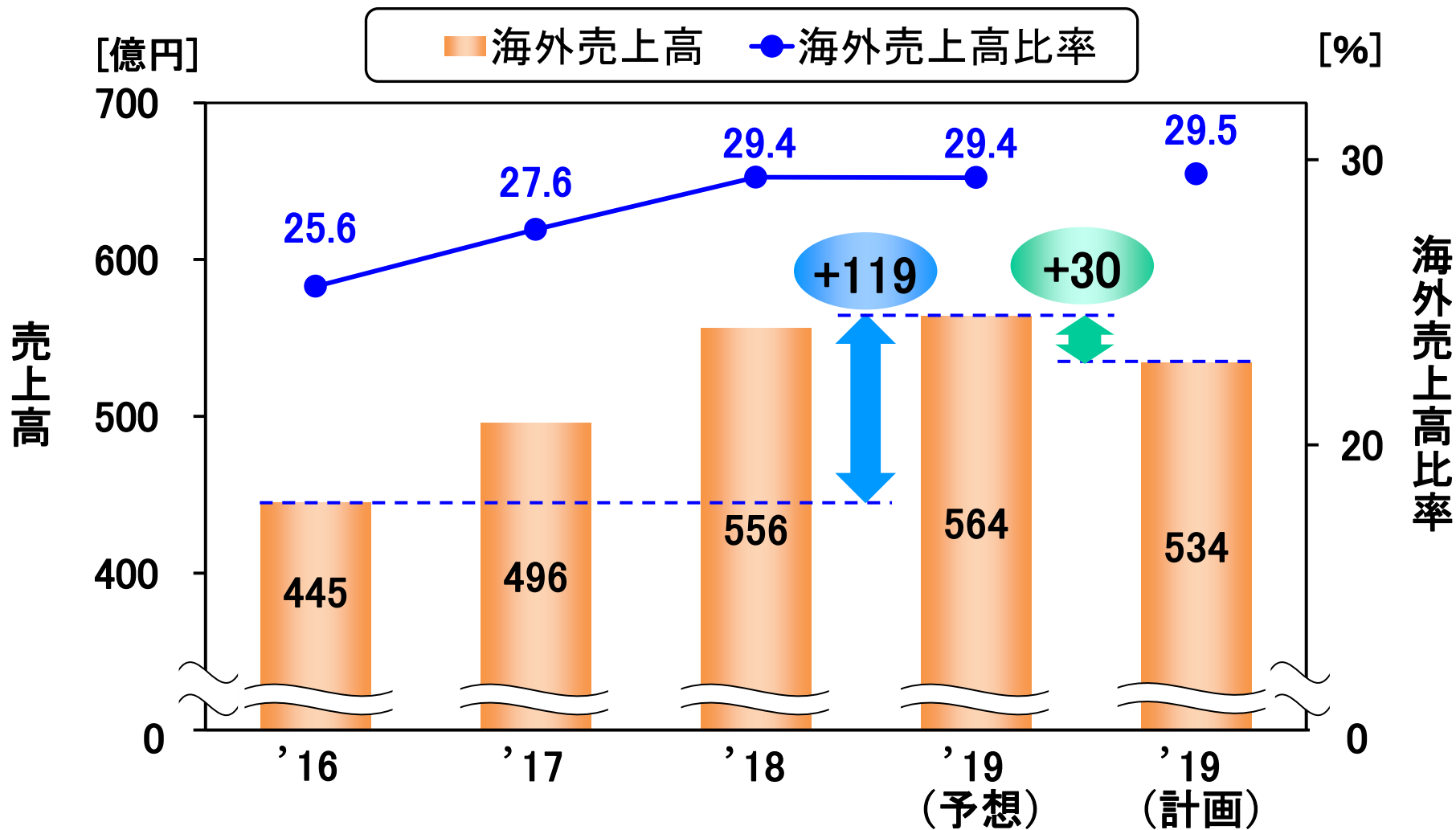
1-4. 高機能・高付加価値製品へのシフト



1-5. 海外事業展開

重点施策	2019中計	2018年度 (実績)	2019年度 (予定)
海外営業体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・海外営業要員の増強 対2016年度+10% ・ナショナルスタッフの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手を含めた増強実施 対2016年度+12% ・北米、欧州、中国での活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外営業要員増強の加速 対2016年度+22% ・北米、欧州、中国での活用継続・強化
高機能・高付加価値製品の拡販	海外売上高 287億円	317億円	321億円

1-6. 海外売上高の実績・計画



2-1. 生産性向上の取り組み

1. 設備投資の推進

- ・高機能・高付加価値製品の需要拡大に対する生産能力の増強
- ・成長分野への積極投資

2. 生産性向上の推進

- ・省力化投資による業務効率の向上
- ・コスト削減の徹底



機能化学品
製造設備(川崎)

項目	2019中計	2018年度 (実績)	2019年度 (予定)
設備投資 ※	累計260億円	60億円	106億円
減価償却費	累計160億円	50億円	56億円

※ 検収ベース

2-2. 生産性向上の取り組み

IoT、AI等の技術を利用した効率化

生産	研究	業務
<ul style="list-style-type: none">・自動化設備による省人化・生産計画ソフトによる精度向上と省人化	<ul style="list-style-type: none">・研究開発支援へのAI適用検討・MIによる研究開発効率化の検討	<ul style="list-style-type: none">・RPAによる業務効率向上

※ MI : Materials informatics
※ RPA : Robotic Process Automation

3. グループ経営の強化

1. グループシナジーの発揮

- ・資産の有効活用
- ・固有技術の相互利用

2. グループガバナンスの強化

- ・リスクマネジメントの推進
- ・モニタリングの強化

3. 人財育成

- ・人財グローバル化の推進
- ・人財交流およびローテーション



ケミカルマテリアルJapan2018



グローバル・コンプライアンス
マニュアル

4. CSR活動の推進

バイオから宇宙まで幅広い分野で新しい価値を創造し、人と社会に貢献します。

組織統治

個の尊重



日油

NOF CORPORATION

社会との共生

RC活動

2019中計 計画値

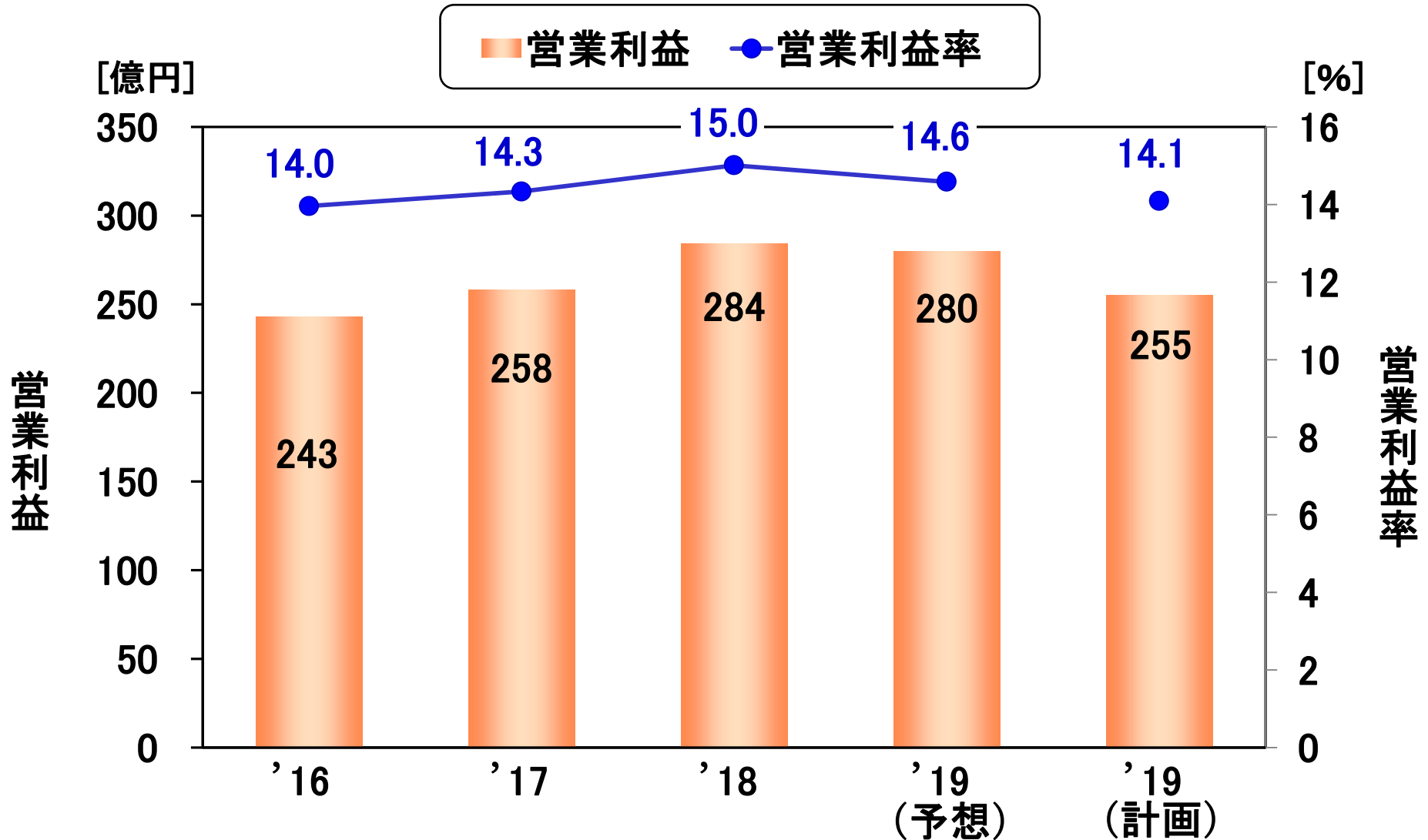
[単位:億円、%]

	2018年度 実績	2019年度 予想	2019年度 計画
売上高	1,892	1,920	1,810
営業利益	284	280	255
売上高営業利益率	15.0	14.6	14以上
ROA ※1	12.5	11.8	—
ROE ※2	12.7	11.6	—

※1 ROA:総資産経常利益率

※2 ROE:自己資本当期純利益率

営業利益・営業利益率の推移



バイオから宇宙まで

From the Biosphere to Outer Space



日油

NOF CORPORATION



- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 IR室 石垣良一
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話 : 03-5424-6651
F A X : 03-5424-1482
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>